

令和4年度那珂川町総合教育会議 議事録

那珂川町長 福島泰夫は、令和4年12月22日午後3時00分、那珂川町役場において令和4年度那珂川町総合教育会議を招集した。

出席者 (構成員)	町長 福島 泰夫 教育長 吉成 伸也 教育委員 長谷川久夫 小幡 絹代 渡邊 芳枝 青木 崇
欠席者(構成員)	なし
構成員以外の 出席者(事務局)	学校教育課長 藤浪 京子
	生涯学習課長補佐 加藤 博行
	学校教育課主幹兼指導主事 関 一浩
	学校教育課長補佐兼指導主事 田角 香緒里
	学校教育課長補佐 磯野 大
傍聴人	0名
協議事項	(1) 全国学力・学習状況調査等の結果と学力向上に向けた取り組みについて
	(2) 幼児期から中学校卒業までの一貫した英語教育の充実について
会議の内容	
1 開会	開会宣告 学校教育課長 (午後3時00分開会)
2 あいさつ	
町長	<p>皆さん、こんにちは。本日はお忙しい中、令和4年度の総合教育会議にお集まりいただきまして、ありがとうございます。教育委員の皆様には、本町の教育はもちろん、町政全般にわたりまして、日頃よりご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。</p> <p>本町にとって、今年は明るい話題が多くございました。5月に待望の屋内水泳場「ウェルフルなかがわ」をオープンし、8月には来場者1万人を超え、多くの皆様から大変好評をいただいているところです。また、いちご一会とちぎ国体では、本町を会場に6月に3B体操を、9月にゲートボール競技を開催し、全国各地から選手役員をはじめ多くの方が那珂川町においでいただきました。そして11月には、第1回なかがわ清</p>

流マラソン大会を開催し、500有余名のランナーを迎えることができました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、この2年間は各種行事やイベントの制限や中止がなされ、小中学校においても、学校生活や行事等に制限がなされ、先生方をはじめ児童生徒の皆さん、保護者の方々には、我慢を続けられてきたことと察しております。

現在も新型コロナウイルス感染症の流行「第8波」が押し寄せ予断は出来ないところですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策に関しましては、新しいステージに移行し、ウィズコロナの時代となってまいりました。今後は、引き続き感染拡大防止をとりながら、町が元気になる施策を可能な限り実行してまいりたいと考えております。また、学校生活においても、コロナ以前の日常生活を取り戻せるよう創意工夫を重ねたいと考えておりますので、今後とも教育委員の皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

さて、学校教育をとりまく状況に関しましては、いじめや不登校等の問題への対応、特別支援教育の充実、外国人児童生徒への対応、ICTを活用した教育の推進をはじめ、複雑かつ多様な課題に対応することが求められております。また、最近ではヤングケアラーの対策や部活動の地域移行等の新たな動きが出てきており、教職員の働き方改革とのバランスを取りながら、児童生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、それぞれの立場で知恵を出す必要性が出てきております。町といたしましても、将来を担う子供たちにより良い教育環境を提供できるよう、引き続き努力する所存であります。

本日開催いたします学校教育の総合教育会議は、毎年、教育委員の皆様と共に様々な教育施策に関し、自由に意見を交換させていただいております。

本日の議題は、「全国学力・学習状況調査等の結果と学力向上に向けた取り組みについて」と「幼児期から中学校卒業までの一貫した英語教育の充実について」であります。本年も委員の皆様の忌憚(きたん)のないご意見をお聞かせいただきたいと思いますと思っております。

	<p>簡単ですが、私のあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたしますします。</p>
3 協議事項	(進行：町長)
町長	<p>それでは、私が進行を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたしますします。これからの進行は着座にて失礼いたします。また、ご発言や説明につきましても着座にてお願いしたいと思います。</p> <p>協議事項(1)「全国学力・学習状況調査等の結果と学力向上に向けた取り組みについて」、学校教育課の説明をお願いいたします。</p>
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	<p>令和4年度那珂川町総合教育会議協議資料、資料1、資料2により説明</p>
町長	<p>学校教育課の説明が終わりました。ここで、ただ今の説明について、委員の皆さんからご意見等を頂戴したいと思います。</p> <p>長谷川委員さん、ご意見等ありますでしょうか。</p>
長谷川委員	<p>資料2について、那珂川スクールの対象となる児童生徒は、学校に普通に行けている子、病気等で学校に行けていない子の両方が対象となるのですか。</p>
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	<p>小学校の対象学年は6年生で、町内3つの小学校に通う6年生の児童全員を対象としています。7月に(那珂川スクール参加の)希望を取り、馬頭中学校区の児童は18名、小川中学校区の児童は20名、合計38名の参加をいただき、中学校に向けての基礎基本をしっかりと学ぶことを目標に開催しました。</p>
長谷川委員	<p>学校に行けていない子も参加していたのですか。</p>
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	<p>学校側からは、普段学校を休みがちな児童も那珂川スクールに参加申し込みをされたとの話を受けており、同児童は那珂川スクールの全日程8回すべて参加をいただいております。</p>
長谷川委員	<p>中学校に関してはどうですか。</p>
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	<p>中学校の対象学年は3年生で、町内2つの中学校に通う3年生の生徒全員を対象としています。対象生徒の中には実施時間に塾に通う子などもあることから、参加者は全体8割程度となりました。馬頭中学校においては12月20日までで終了となりました。指導者は各中学校の先生</p>

	で、全ての先生の時間調整をし、順番で指導を行っています。今年度は基本コースと応用コースに分けて、工夫しながら手厚い指導を行っていた学校もあります。
長谷川委員	成果は上がっているということでしょうか。
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	小学生に関しては、保護者からのアンケート結果によると、「いつもは休日は遊んで過ごすが、勉強をする気持ちになった。」「国語辞典を使うようになった。」など、好反応があったと感じています。
町 長	その他、ご意見等ありますか。 小幡委員さん、いかがでしょうか。
小幡委員	那珂川スクールの取り組みについて、その時その時の授業では前の授業内容が出来ていない部分があったりするが、50分の授業時間の中で、前に（前の授業内容に）戻って授業を進めるというのは時間が無くなってしまうので、放課後や土曜日の取り組み（那珂川スクール）は少しずつ良い結果で（成果が）現れてくると思います。子供たちが分かるという体験をすると、次の学習の励みになるものと思います。
町 長	その他、ご意見等ありますか。 青木委員さん、いかがでしょうか。
青木委員	タブレットPCを効果的に活用した学習指導について伺いたいです。
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	タブレットPCは昨年度導入され、昨年度は、手探りの状態であったため、先生も児童生徒もまずは使うことを目標に（タブレットPCの浸透を）進めました。今年度は、次の段階に進み、授業の中でどのように活用できるかについて、研修などを行っているところであります。7月28日にハッピースロープラン学力向上部会において学習指導主任の先生と情報教育の担当の先生と一緒に研修会を行い、授業の中で有効に活用できるソフトを共有したり、塩谷南那須教育事務所から講師の先生を招き、タブレットPCの効果的な活用方法等の講話をいただきました。現在は、児童生徒が書いたものを自らタブレットPCで写し（取り込み）たり書いたりしたものを先生に送信し、それを他の児童生徒全員に配信して共有する活用が多くなっています。
青木委員	子ども達の方が（タブレットPCの使い方を）習得するのが早く、先

	生方がそれに付いていくのが大変なのかと感じます。
町 長	その他、ご意見等ありますか。 渡邊委員さん、いかがでしょうか。
渡 邊 委 員	那珂川スクールやタブレットP Cを活用している授業の風景を見てみたいです。
町 長	私も授業参観みたいなものが出来ればよいと思います。 渡邊委員さんのご意見やこれまでの意見交換内容に対して、教育長からの意見をお願いします。
教 育 長	只今の授業参観の件に対しては、早速、来年度の教育委員会の計画に取り入れ、子ども達の実際の授業風景を参観いただきたいと思います。 今年度までは新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、授業参観で自由に授業を見ることを控える動きがあったが、少しずつ実現できるようにしていきたいと考えています。
町 長	田角先生（課長補佐兼指導主事 田角）の説明の中で、先生方の秋田県先進地視察（秋田県美郷町への視察研修）により、「学んだことを振り返る力」をしっかりと秋田県では持っているが、本町ではそれを那珂川スクールで実践されていると感じてるが、田角先生に伺います。また、小幡委員さんのご意見の中でもこれに触れていましたが、大切なことだと思います。
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	那珂川スクールは、個に応じた支援を行っています。18名の児童に対して指導者は、ボランティア講師が2から3名、学校教育課職員が含まれると4名から5名となり、沢山の先生達の目が児童に向かっていきます。4年生で掛け算が苦手な児童には掛け算から教え、掛け算ができる児童には発展的な問題等を教えています。また、振り返りに関しては、以前からの秋田県との交流を踏まえ、普段の授業の最後に「できた」「分かった」という体験ができるようにしています。
長谷川委員	学校で出される宿題は学力向上に寄与していると思うが、宿題の量はどのように考えていますか。
教 育 長	それ（宿題の量）は大きな問題で、小学校では学級担任がほぼすべての教科を指導するので、宿題の量のコントロールができるが、中学校で

	<p>は各教科ごとに先生が違うので、放っておくと（コントロールされなければ）、それぞれの教科でそれぞれの宿題がだされる恐れがあります。</p> <p>そこで、宿題を出す曜日、教科、量等を学校全体としてコントロールするように、教育委員会の指導担当により各学校に直接指導をしています。ある程度町全体として宿題の出し方について調整をさせていただいています。個によってそれぞれの宿題の量や内容があるため、その辺も考慮させていただいています。</p>
町 長	<p>学校の宿題に調整が必要ということは、私も初めて知りました。</p> <p>その他、ご意見等ありますか。</p>
長谷川委員	<p>資料1の中、「1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」のアンケート結果で3時間4時間というのは結構多く、勉強の時間を阻害するものと思います。この辺は家庭でコントロールすべきものと思うが、学校から家庭への指導等はどのように考えていますか。</p>
教 育 長	<p>資料1の最後の部分は各家庭に配布する予定であり、家庭学習の環境づくりの観点から、ゲームをはじめテレビ等のメディアに触れる機会をある程度制限をいただかないと学習環境は整わないため、各家庭にはお願いをしているのが現状です。具体的に今年度は啓発資料を各家庭に配布したりしています。</p> <p>今後の取り組みについては指導主事から説明させます。</p>
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	<p>各学校では児童生徒に対し継続的に指導をしています。各家庭に対しては、学年懇談や親子活動の後、生涯学習課で実施している親学習等でタブレットPCやテレビ等のメディアとの接し方について説明しているところです。また、子ども達が使っているタブレットPCを実際に親御さんも使ってもらい、利用履歴の閲覧等の説明も行っています。来年度以降もこれらの取り組みを継続したいと考えています。</p>
町 長	<p>先日議会でも、GIGAスクール構想のタブレットPC使用による目に及ぼす影響についての質問がされたところであるが、タブレットPCの使用のみでは大きな影響は起こらないと考え、長谷川委員さんご意見のゲーム機やスマホ等の使い過ぎの方が大きな問題ではないかと感じます。</p>

	<p>全国学力学習状況調査やとちぎっ子学習状況調査の結果で一喜一憂するものもあるかと思うが、一つの目安として捉え、悪かった部分を改善する努力は必要かと思うので、教育現場の先生方には大変とは存じますがよろしくをお願いします。</p> <p>協議事項（１）に関して、教育長ご意見等がありますか。</p>
教 育 長	<p>議題設定の趣旨にもあるように、全国平均正答率を上回ることを目標としているところだが、今年度、小学校においては達成することができ、小学校の取り組みには大きな成果があったものと思います。学校の子ども達へ関わる先生方の体制がうまく機能したことが大きなウエイトを占めていると思います。半面、これから中学校をこの状況をどうしたらよいかということが大きな悩みです。中学校は教科によって先生が変わるため、授業への取り組み等にも差が出てくる恐れがあり、これを学校全体でどのように取り組みさせるかという面で、考え直さなければならぬと感じています。経年の変化の説明があったとおり、子ども達は小学校の時は成績が良くても、中学校に行くと全国平均から落ちてしまう状況にあります。これには学習内容も成長しているので、どこかで苦手意識が出てくることも考えられます。学習内容の難しさや困難度に応じて子ども達にも頑張ってもらう必要があるため、来年度以降も授業改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。</p>
町 長	<p>その他、ご意見等ございますか。（意見等なし）</p> <p>もし、ご意見等がありましたら、本日でなくても後日事務局まで伝えていただければ幸いです。</p> <p>それでは、「（１）全国学力・学習状況調査等の結果と学力向上に向けた取り組みについて」を終了といたします。</p> <p>続きまして、「（２）幼児期から中学校卒業までの一貫した英語教育の充実について」、学校教育課の説明をお願いいたします。</p>
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	<p>令和４年度那珂川町総合教育会議協議資料、資料３、資料４により説明</p>
町 長	<p>学校教育課の説明が終わりました。ここで、ただ今の説明について、</p>

	ご意見等ありますでしょうか。
長谷川委員	意見というか英語への思いにもなるが、今、日本語が乱れているので、幼児期、幼稚園、小学生には授業で出来るだけ国語をしっかりとやってほしいと思います。その中で英語の時間を割くのは先生方も大変かと思えます。
町 長	その他、ご意見等ありますか。 小幡委員さん、いかがでしょうか。
小幡委員	先程、教育長さんが中学校に関しては宿題を出す先生が教科によって違うので量を調整する必要があると話されたが、英語に関しても英語がきらいにならないように個に応じて調整が必要だと思います。
町 長	英語が嫌いにならないようにというのがキーワードになるかと思えます。 青木委員さん、いかがでしょうか。
青木委員	前に何かで聞いたが、日本語が一番英語を発音しにくい言葉で、小さい頃から習わないとなかなかしゃべれないと聞いたことがあり、なるほどなあと感じました。小さいうちから日本人はネイティブな方が発音するのは違うので、早いうちからネイティブな方と沢山ふれあうことは良いことだと思うので、認定こども園でネイティブな方とゲーム感覚で楽しく学び、そこから（ふれあう）回数を増やすことが良いと思いました。
町 長	渡邊委員さん、いかがでしょうか。
渡邊委員	中学3年生で5分間の英語で対応できるようにする目標があり、今までの英検は読み書きが中心だったと思うが、今の英検の問題の傾向はどのようなになっていますか。
長谷川委員	対話の方が重視される傾向かと思えます。
学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角	英検ではないが、調査問題等では、自分の意見をメール文で打ったり手紙を書いたりする、実際に生活の中で使うような場面が問題に出てきていると感じます。
町 長	今年の英検はいつ実施されたのでしょうか。

<p>学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角</p>	<p>1回目が6月、2回目が10月、3回目が1月の年3回の実施となります。</p>
<p>町 長</p>	<p>昨年（の英検の結果は）は良い成績と聞いたが、今年はどうな結果でしたか。</p>
<p>学校教育課 課長補佐兼指導主事 田角</p>	<p>今年は2回目の実施が終わった段階で、まだ最終結果は出ていません。</p>
<p>町 長</p>	<p>（協議事項（2）について）様々な意見をいただいたが、ハッピースローププランの取り組み状況等も含めて、教育長からの意見をお願いします。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ハッピースローププランについては、小学校・中学校へと切れ目ないように子ども達の成長を支えて行こうということでスタートしたものです。特に英語教育が小学校に降りてくる時に、どのように対応するかということと併せて、国の外国語教育全体の方針が諸外国の方針に習うように変化している、いわゆる、会話力を重視しなければならないということにシフトしている状況にどのように対応していくか、更には、本町で今まで行ってきた英語教育をそこにどのように馴染ませるか、折り合いをつけるかということと同時に考えた結果、既存の教育体系となる、（旧町合併前から在職している英語教育専門員の）ケビンさんが居るという町の特色を最大限に活かし、且つ、ALTと連携を取り、認定こども園に出向いての英語教育、小学校1・2年生には実際にネイティブな先生と一緒に英会話やゲームを行う等の体験を上手く中学校に繋げていき、高校入試にも対応できるようにしたいと考えています。なかなか成果が目に見える形では出ていないが、今年度は「計画を立て、それをどのように実施し、どう評価するか」という取り組みとなるパフォーマンステストを実施し、やっと（目に見える成果に）辿りつけた感じがします。今後も見守っていただければ幸いです。</p>
<p>町 長</p>	<p>私も英語教育に関心があり、旧小川町の時代にカナダ人の国際交流員が週一回夜に英会話教室を開催した際に私も参加した。その時に小学2年生の女の子が一人で参加して先生と遊びながら楽しく勉強をしていた。その子はその後東北大学に入学し卒業後に就職したが、初任給を受</p>

	<p>けた際には町にふるさと納税をして下さり、感銘を受けました。(英語教育だけでなく) 人間的にも併せて成長できればよいと考えます。本町にはケビンさんが居るが、子ども達はケビンさんに親しみ楽しくふれあっています。子ども達が認定こども園から小学校、中学校に進む過程で、ケビンさんをはじめネイティブな方も含まれるALTと一緒に学校で会話やゲーム等を行うことができるという教育環境は、他市町より恵まれていると思います。また、ケビンさんがこれからもずっと居てくれるとは限らないので、その後のことも考えていかなければならないと思います。</p> <p>日本語が大切ということは最もであるが、日本語と外国語どちらも出来なければ、グローバル社会な現代では生きていけないとも感じます。</p> <p>その他、委員の皆様からご意見等ありますか。協議事項以外に町への要望等でも結構です。</p>
<p><b>長谷川委員</b></p>	<p>協議事項とは関係ないが、議会で図書館建設についての話が出たが、どのような内容ですか。</p>
<p><b>町 長</b></p>	<p>この件に関しては議員さんのおっしゃることも最もだが、質問の中で、那珂川町は図書購入費に充てる予算が少ないから図書館には寄らないという一方的な意見には疑問を抱いています。希望する図書があれば連携している他図書館からの借用することも可能であると考えます。また、図書館を基軸としたコミュニティーの形成を図ることが出来れば良いとも考えています。小川図書館に関しては、学校から近いということで、スクールバスを待つ間に立ち寄ることが出来る等のメリットもあります。</p> <p>その他、委員の皆様からご意見等ありますか。(意見等なし)</p> <p>それでは、協議事項(2)「幼児期から中学校卒業までの一貫した英語教育の充実について」は、終了とさせていただきます。</p> <p>以上で本日提案いたしました協議事項は、終了とさせていただきますが、本日皆様から様々なご意見をいただき、教育にかける熱意が伝わってきました。教育委員会においてもいただいたご意見をしっかり受け止めて取り組んでいってほしいと思います。</p>

	最後に教育長、全体的に意見等がありましたらお願いします。
教 育 長	ありがとうございました。総合教育会議を開催させていただき、教育委員会会議ではいただけない様々な貴重なご意見をいただくことが出来ました。私ども担当事務局が見逃してしまうご意見には、学習意欲を削ぐことはいけないというものがあったと思います。ベース（教育の基本）は忘れてはいけないということを再確認した思いです。ありがとうございました。
町 長	ありがとうございました。それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。
4 その他	
学校教育課長	ありがとうございました。協議事項は終了とさせていただきます。次第4その他に入らせていただきます。事務局から1件お知らせいたします。
事 務 局	<p>本会議の今後の予定となります、議事録の公表に関してご説明申し上げます。</p> <p>那珂川町総合教育会議設置要綱第7条により、本会議の議事録は公表することとしております。</p> <p>事務局で議事録（案）がまとまり次第、教育委員の皆様へ送付させていただきますので、内容をご確認いただき、必要な場合は文言の加除修正を行います。その後、次回（1月26日）の教育委員会会議にご出席いただいた際に、議事録にご署名をいただき、調製が整い次第、町のホームページにおいて公表する予定となりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>説明は以上です。</p>
学校教育課長	<p>事務局からのお知らせは以上1件となりますが、教育委員の皆様から何かございますでしょうか。（意見等なし）</p> <p>町長からは、ございますでしょうか。（意見等なし）</p>
5 閉 会	
学校教育課長	学校教育課長が会議の閉会を宣告した。（午後4時17分閉会）